

令和4年度表彰

ID 1031874

本市では、市民福祉・行政に貢献した人、文化やスポーツ活動で活躍した人、宇都宮の名声を高めた人や広く市民に敬愛されている人などを、毎年宇都宮市表彰条例に基づき表彰しています。

今回は、令和4年度に表彰した皆さんを紹介します。

☎秘書課 (632) 2005

キラリ 輝く宮っこたち



市政功労表彰

地方自治の振興、社会福祉の増進などの功績があった4個人・4団体（敬称略）を表彰しました。

▼篠崎和一 ▼入江正幸 ▼吉澤聖人
▼沼尾陸三 ▼リアンコーポレーション ▼宇都宮東ライオンズクラブ 他2団体。

うつのみや市民賞

文化やスポーツ活動において、全国規模以上の大会などで最高位または、それに準じる成績を収めた81個人・7団体（敬称略）を表彰しました。

- 田知士 ▼稲妻ファイヤー Team
- 田夏光 ▼小堀美穂 ▼花井小梅 ▼森
- 崎俊哉 ▼宮西琉聖 ▼幾田悠雅 ▼田
- 雅治 ▼齊藤由奈 ▼阿久津理音 ▼谷
- トボール部 ▼作新学院チーム ▼谷
- 原クラブ ▼作新学院高等学校 ▼田
- 保治夫 ▼関野思衣 ▼本田尚也 ▼清
- 愛璃 ▼姿川クラブ ▼ハイシニア ▼久
- 子 ▼古橋あやか ▼船田羽那 ▼石塚
- ▼スポーツ ▼荒田裕菜 ▼福田桜
- 小川理緒 ▼小林優太 ▼五月女智仁
- 荒山花帆 ▼高橋咲希 ▼小川千博
- 宮市立一条中学校 ▼八重樫優衣 ▼都
- 俊佑 ▼岩井颯葉 ▼岩崎叶佳 ▼宇
- 文化・その他 ▼大橋叶 ▼重松

功績や活動の内容

ID 1031874

表彰者の功績など、詳しくは、市☎をご覧ください。

8

9

詳しくは、
こちら

▲市☎

- エボルブ
- evolve BECOME FRIENDLY
- 岡澤恋 ▼作新学院高等学校 軟式
- 児山遥都 ▼中村陸人 ▼中村拓志
- 野球部 ▼安達ちあき ▼大島果純 ▼大
- 大嶋環 ▼毛塚愛莉 ▼小森水遥 ▼大
- 島朗央 ▼市川巧 ▼鈴木慎太郎 ▼真
- 鍋翔吾 ▼齋藤広人 ▼犬塚友佳子 ▼真
- 滝田実優 ▼貝原涼太 ▼下畝地洸聖
- 大橋雅貴 ▼稲山巧 ▼和田友道 ▼聖
- 村田和麻 ▼加藤凜香 ▼橘俊也 ▼数
- 度美幸 ▼杉本汐夢 ▼白井悠斗 ▼矢
- 島元美 ▼落合有佳利 ▼齋藤一法 ▼
- 小室元氣 ▼櫻井亜叶 ▼薄井えりか
- 古口正文 ▼飯田佑介 ▼合田伶央
- 石坂梨紗 ▼原田慎之助 ▼他14個人

1 阿久津理音さん(左)、齊藤由奈さん(右) 2 幾田悠雅さん 3 清原クラブ 4 中村陸人さん 5 大橋叶さん 6 森田夏光さん 7 谷田雅治さん 8 岩崎叶佳さん 9 犬塚友佳子さん

周囲への感謝の思いを胸に臨んだ いちご一会とちぎ大会で優勝



都道府県や指定都市から選考された選手たちが全国から集い、昨年10月に県内各地で開催された「第22回全国障害者スポーツ大会いちご一会とちぎ大会」。

今大会に出場した橘俊也さんが、陸上競技の「男子50m」と「立ち幅跳び」の2種目で優勝しました。大会には、正式競技・オープン競技合わせて、全国から延べ1万5896人の選手・監督が参加し、熱戦を繰り広げました。

橘さんが全国障害者スポーツ大会で優勝するのは、平成27年に和歌山県で開催された第15回大会に続き、2回目です。

優勝した時の気持ちを「素直にうれしかった。地元の栃木県での開催ということで、あまり知られていない障がい者スポーツを、多くの人に知ってもらうことができたいと思う。普段お世話になっている人たちに、直接、恩返しをすることができた」と振り返ります。

また、「たくさんの人が見ている中で、プレッシャーに負けないことを心掛けた」と、フライングをした場合には一度で失格となる男子50mでは、細心の注意を払いスタートを切りました。

橘さんは幼少期から運動が好き

で、中学時代には陸上部に所属し、中距離走などに取り組んでいました。

現在は、仕事に就いて働く傍ら、自身で練習メニューを決め、帰宅後や休日の空いた時間に、自宅周辺や陸上トラックを走ったり、筋力トレーニングに励んだりする他、会社の昼休みに会社周辺を走るなどして、練習を積んでいます。

陸上競技の魅力について、橘さんは「走っている時の疾走感が好き。たとえ嫌なことがあっても忘れることができる」と語ります。

2年前に三重県で開催を予定していた第21回大会にも、選手として選出されていましたが、大会が新型コロナウイルス感染症の影響で中止となりました。「無事に開催されるか不安だった」と振り返る今大会で見事、優勝を果たしました。

今後の目標について、橘さんは「今年、鹿児島で開催される予定の第23回大会でも、選出されたら優勝を目指して頑張りたい」とさらなる活躍に向けて意気込みを語ります。

周囲の人たちへの感謝の気持ちを胸に、走り続ける橘さんの今後の活躍から目が離せません。